広島民報

2020年 8月2日　第2573号
月3回刊
日曜日発行

発行所　広島民報社
〒730-0013 広島市中区八丁堀8-11／電話 (082) 228-4046
（昭和41年2月19日第三種郵便物認可）
1ヵ月 240円(送料126円)／1部 80円
郵便振替 01330-2-34778

© 広島民報社　2020年

河井事件の被買収議員
議会で辞職勧告決議案
呉市は可決、広島市は議題にせず

前法相で衆院議員（広島3区）の河井克行被告と妻で参院議員（広島選挙区）の案里被告＝いずれも自民党を離党＝の大規模買収事件で、河井被告から資金提供があったとされる県内の3首長と37議員の計40人のうち、三原市長、安芸高田市長、安芸太田町長の3首長と何人かの議員が受け取ったことを認めて辞職しました。しかし検察当局が約100人といわれる被買収者全員の刑事処分を見送る方向を受けてダンマリを決めこむ議員がおり、県民から「疑惑議員は全員、政治責任を明らかにせよ」の怒りの声が広がっています。

37議員の内訳は、県議13人、広島市議13人、呉市議1人、尾道市議1人、廿日市市議2人、江田島市議1人、安芸高田市議3人、北広島町議1人、安芸太田町議1人、府中町議1人。そのうち、安芸高田市議3人と府中町議1人が辞職し、北広島町議1人が辞職を表明しています。

呉市議会は7月10日、辞職勧告決議案を全会一致で可決。一方、広島市議会は7月18日、日本共産党と公明党がそれぞれ提案した辞職勧告決議案を議題とすることを反対多数で否決しました。

あと残るのは、県議会と尾道、廿日市、江田島の3市議会、安芸太田町議会の計5議会。被買収議員の辞職を勧告するのかどうか関心が高まっています。

呉革新懇などが宣伝、市役所正面で抗議

呉市議会（定数32）は7月10日の臨時会で、現金30万円の受領を認めていた土井正純議員に対する辞職勧告決議案を全会一致で可決。議長と退席した土井議員本人、欠席議員1人を除く29人全員が賛成しました。

呉革新懇と呉市「河井疑惑をただす会」は7月8日から毎日、市役所正面でハンドマイク宣伝。ビラ100枚がわずか30分間で市民の手に渡り、怒りが伝わってきました。10日も雨の中、臨時議会開会前の午前9時から15人で「金を受け取った議員は辞職せよ！」と書いた横断幕を掲げ＝**写真**＝、「土井市議が30万円を受け取ったことは公選法違反で、刑事罰の対象です。『金品の授受』を禁止した呉市政治倫理条例にも違反しています。法と条例を守るためにも、辞職するのが筋です」と訴えました。9日の宣伝には、日本共産党の大平よしのぶ衆院中国ブロック比例候補が参加しました。

党広島市議団の提案 受領した6人辞職を

広島市議会（定数54）で、河井被告から資金提供があったとされる議員は13人で、日本共産党市議団（5人）は7月17日、決議案を市政調査課へ提出。辞職勧告の対象としたのは、自民党市民クラブの豊島岩白（西区）、木戸経康（安佐北区）、自民党保守クラブの木山徳和（中区）、谷口修、石橋竜史（以上安佐南区）、市政改革ネットワークの沖宗正明（安芸区）の6氏です。

党市議団は7月14日、市役所内で記者会見＝**写真**＝し、「この6人は記者会見を開いたり、取材で受領を認めたりしている。否定はしておらず、報道が正しいと考えざるを得ない」と指摘。ほかに受領が疑われる議員については、事実が明らかになり次第、追加で対応する意向です。

臨時会最終日の7月18日、決議案が本会議に上程されるためには出席議員の過半数の賛成が必要です。

（2面へ続く）

お知らせ
「広島民報」は毎月第1・3・4日曜日の定期発行日ですが、8月はお盆があるため、第1・2・4日曜日に変更します。
広島民報社

75年目の8・6「原爆の日」
各地で犠牲者追悼の碑前祭など
世界大会成功へ国民平和大行進

広島市に原爆が投下されて75年の節目となる8月6日の「原爆の日」を迎えるにあたり、県内各地で犠牲者を追悼する碑前祭が開かれ、原水爆禁止世界大会の成功をめざす国民平和大行進が歩みを進めています。

福島地区の原爆碑で 第45回慰霊祭

広島市西区の福島地区原爆犠牲者慰霊之碑前では7月25日、第45回慰霊祭が営まれ、19人が参列しました。

日本共産党の中森辰一市議が「被爆75年にあたり、核兵器のない世界へさらに力を合わせたい」と開会あいさつ。妙蓮寺の住職による読経が流れるなか、参列者は次々と献花しました。

村上厚子さんが県内通し行進

2020年国民平和大行進は7月26日、東京―広島Aコースが岡山県笠岡市から広島県福山市へ入り、大門町の「三角公園」で引き継ぎ式が開かれました。

東京から通し行進する予定だったのをコロナ禍で断念し、広島県内の通し行進に切り替えた被爆2世の村上厚子日本共産党前市議が決意表明をしました。

広島Aコースのほか、富山―広島コースが7月30日に島根県から、長崎―広島コースが8月2日に山口県から広島県入り。広島Bコースとあわせて計4コースが8月4日、広島市中区の平和記念公園に終結する予定です。

福島地区原爆犠牲者慰霊之碑前で開かれた慰霊祭＝7月25日、広島市西区

碑には「天を抱くがごとく両手をさしのべし死体のなかにまだ生きるあり」との深川宗俊氏の碑文が刻まれ、423人が合祀されています。

日本共産党の中森辰一市議が「被爆75年にあたり、核兵器のない世界へさらに力を合わせたい」と開会あいさつ。妙蓮寺の住職による読経が流れるなか、参列者は次々と献花しました。

国民平和大行進を岡山県から引き継いだ広島県行進団＝7月26日、福山市

地下水

まもなく被爆75周年の日を迎えます。3年前の7月7日、核兵器禁止条約が国連で採択されて3年、この間に署名した国が82カ国、批准した国が40カ国、発効するまで10カ国に迫っています◆批准した国々をみると、主として南半球にあり、国内に貧困や紛争をかかえた国もあります。そうした国が真剣に核兵器の禁止を求め、世界を大きく動かしていることに深い感動を覚えます◆日本共産党の第28回大会で採択された綱領で「東南アジア諸国連合が平和の地域共同体をつくりあげ、この流れをアジア・太平洋地域に広げていることは、世界の平和秩序への貢献となっている」と指摘している表れでしょう。8月6日までにどこまで批准が進むのか、ワクワクしています◆コロナ禍のもと、原水禁運動は新しい形で取り組まれています。オンラインでの開催はZOOMウェビナー方式やユーチューブでだれでも参加できます。この機会に苦手だったSNSを少しだけ克服し、誘い合って広島デーや「平和の波行動」に参加しましょう。（○）